

「個人番号カード申請書」いらない！行動

10月5日以降、12桁の個人番号（マイナンバー）が記載された「通知カード」が簡易書留で送られてきています。マイナンバー（共通番号）制度は“プライバシー権の侵害・個人情報の侵害・なりすまし犯罪の温床・一つの番号で個人のあらゆる情報を一元管理する国民総背番号制（監視、管理社会）”といった問題があると、多くの市民が不安に思っています。

鎌ヶ谷市では郵便の配達はほぼ終わり、配達できなかった4043通が市へ送付されました。今、市役所での交付が行われています。

マイナンバー制度に反対する市民が、最低限、危ない危ない「個人番号カード」は持たないと、通知カードについている個人番号カード申請書に×をつけて鎌ヶ谷市に返却しました（11/12）。

窓口で共通番号（マイナンバー）の問題点、危険性を語り「こんなものはいらない！」と10数名の市民が次々と市へ反対の意思表示をしました。

国はこの番号カードを戸籍から医療情報、金融情報、そして購買記録とポイントカードに至るまであらゆる情報とリンクするカードにしようとしています（6/30閣議決定）。写真との整合性を取るため本人確認に顔認証までしようとしています。私たちの“生体情報”までもが管理されようとしています。

英国では日本が導入しようとしているマイナンバーと同じ制度をつくりましたが全面的にやめました。米国ではマイナンバーにあたる社会保障番号で管理していますが、なりすまし犯罪が多く発生（年間5000億円の損害）、ついに国防省関係では社会保障番号を使う事をやめました。

日本はなぜ6000億円（国3000億円・地方3000億円）もの税金を初期投入してまでマイナンバー（共通番号）をやろうとするのでしょうか？

9/19強行採決された戦争法制により戦争遂行するには国民の管理が必要です。一元管理のマイナンバーと、国の情報は見せない・聞かせない・しゃべらさない特定秘密保護法とが対になって情報統制と国民管理が貫徹されます。

更に、6/30の閣議決定の中で示されているように国民のあらゆる情報をグローバル企業が利活用する為には、マイナンバーで医療から金融・思想・嗜好・癖までも紐付けしてヒューマンデータ・ビックデータとして使えるようにするのです。

戦争と金儲けの為に番号で管理されるなんてイヤです！

市民一人一人が自づからの意思を市役所に伝えていきましょう。個人番号カード申請書に×をつけて市民課に出せば意思が伝わります。

個人の尊厳が尊重される社会を、一人一人が大切にされる社会をつくっていく為にも、小さな声でも上げていきましょう。

“民主主義って何だ？これだ！”

